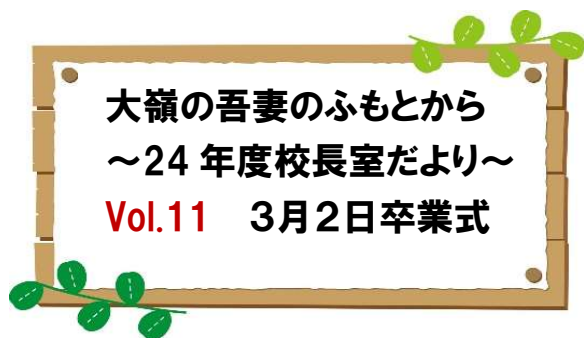




令和6年度卒用証書授与式を挙行了しました。



米沢興譲館高等学校第七七回卒業生となる一九六名の皆さんに、高等学校の過程を修了した証として卒業証書を授与しました。三年間、真摯にそして精一杯学校生活に向き合い、尽くしてきた努力と研鑽を心から讃えます。卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、旺盛な知的好奇心と向上心を持って、日々の授業や探究的な学びに向き合いその知性を大きく伸ばしてきました。また、部活動をはじめとする様々な活動を通して心身を鍛え、人間力を高めてきました。目の前にある「しなければならないこと」に誠実に向き合いながら、「やりたいこと」「なりたい自分」を思い描いて毎日を過ごし、自分を高めていこうとする姿は尊く、輝いていました。夢中になって何かに打ち込み、考え、悩みながらも一生懸命に学校生活に向き合った経験は必ずや自分の糧となり、人生を歩んでいく中で背中を押す力になると信じています。

「変化の激しい予測不能の時代」と言われます。長い時間を生きてきた私たち大人は、これまでの社会と比較して変化が激しいことを憂い、平和で安定した時代を振り返って、これからの予測不能といわれる未来に生きる若者の未来を心配しています。しかし、皆さんにとっては、今の社会が当たり前の日常の社会であり、未来は特別な時代ではなく「自分たちが主人公となる時代」です。皆さんには、先人たちが築いてきたものをしっかりと磨き、過去の歴史や文化に学びながらも、これからの時代を担い、そしてその先の未来に生きる人々が、より豊かで幸せな人生を送ることができるよう、自分が志す道でリーダーとして、パイオニアとして、力を尽くしてほしいと願っています。

米沢興譲館高校の、「自他の生命を尊重し、己を磨き誠を尽くし、世のために尽くさん」とする「興譲の精神」、そして歌い継がれてきた校歌や応援歌は、多くの先輩方の心にアイデンティティとして存在しています。これから皆さんの進む道はさまざまに分かれていきます。長い道のりを歩んでいく中では、何かに行き詰まったり大きな壁を前にしたりすることもあると思います。そんなときには、これらを思い出してください。そしてこの学び舎で喜怒哀楽を共にし切磋琢磨した友の姿を思い出してください。自分のスタートラインとチャレンジする勇気を、もう一度教えてくれるはずです。

本校で過ごした三年間に自信と誇りを持ち、胸を張って、力一杯、自らの人生を切り拓いていってください。卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを心から祈ります。